

## 公立大学法人福知山公立大学 中期目標（案）について

No.	評価委員会指摘事項	福知山市回答
1	地元の高校生に福知山公立大学に来てほしいという視点で見たとき、福知山を中心とした地域の貢献、地域の課題解決とそこで活躍する人材の育成が一番の中心でないといけない。	他市から学生を呼び込むことや、他市に転出していた若者に北近畿地域へ戻ってきてもらう仕組みを作ることも大切であるが、最も重要と考えることは、ふるさと北近畿を愛し、地元のために働きたいと思ってくれる福知山をはじめとする北近畿地域の高校生を育てることである。 福知山、北近畿地域の高校生が魅力を感じ、進学したいと思える大学を作るという観点から、「前文」において、『地域を愛し、地域のために働きたいと思える、地域の将来を担う人材育成拠点を構築する。』を掲げる。
2	福知山公立大学のミッションは、この地域に利益を戻すことではないか。そのことを踏まえると、「地域」の定義を中期目標において明確にすべき。	福知山公立大学の役割を「前文」に記載した。 「地域」とは、福知山市をはじめとする北近畿地域である。北近畿地域が人口減少・高齢化に伴う地域力の減退からの脱却を図り、持続可能な地域社会の形成、そして地域が本来持つ素晴らしい資源をしっかりと活かした地方創生につなげるためには、北近畿地域の市町と広域的に連携・協力して総合力を高めるとともに、地域の発展に寄与できる人材を育成・確保し、「地域で学び、地域で働く」という人材循環システムを構築しなければならない。その教育まちづくりの中心となるのが福知山公立大学である。
3	福知山公立大学は「人」に焦点を当てるといふ考え方から、「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」を「市民の大学、地域の人々のための大学、世界の人々とともに歩む大学」という表現にしてはどうか。	本学は、地域に貢献する大学を目指しているため、当然、地域に住む人々に焦点を当てたいと考えている。また、世界の人々とも繋がっていく中で、学生の世界的な視野も育んでいきたいと考えている。そうした背景から、総じて「地域」、「世界」という言葉を使用しているため、従来どおり「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」を基本理念とした。ただし、人に焦点を当てている大学であることを感じ取ってもらえるよう、積極的な地域連携を図っていきたい。
4	志願者を定員の何%までは集めるという志願者の確保目標を示してはどうか。	安定的な法人経営・大学運営のためには、計画的な定員増加を図るとともに、定員を充足する入学生を確保することが必須条件である。したがって、中期目標に志願者確保に関する目標を掲げ、学生にとって魅力があり、進学したい大学となるよう取り組んでいきたい。
5	「地域に根ざし、世界を視野に活躍するグローバルリスト」は逆のように感じる。「世界を視野に広い視点で地域に根ざし活躍してくれるグローバルリスト」というような表現のほうがいいのではないか。	ご指摘のとおり、逆の印象を与えてしまう表現かもしれない。ただし、あくまで「地域に根ざし、地域で活躍するグローバルリスト」を育成したいという思いから、この表現を使用しているものであり、この表現のままとしていただきたい。ただし、中期目標「第1基本的な目標 3育成する人材像」において、誤解を与えないよう記載させていただく。

## 公立大学法人福知山公立大学 中期目標（案）について

No.	評価委員会指摘事項	福知山市回答
6	耐震工事費をどこが負担するのかは市民にとって知りたいところだと考える。もし大学が負担することになるのなら、中期目標に記載したほうがいいのか。	大学施設の中には耐震化ができていない建物が1棟(旧図書館)あるため、利用状況を把握し、施設利用計画、耐震化の必要性の有無を検討したい。 なお、「第8 その他業務運営に関する重要目標」の「2 施設設備の整備・管理に関する目標」において、大学施設の機能保全及び維持管理を計画的に実施する点、また、耐震化を含め、市民の財産である大学施設の適切な保全を図ることを追加記載した。
7	「第3 教育研究上の基本組織」に平成28年度の学部学科編成が記載されているが、既に文部科学省に認可されたものであり、もはや目標ではないため、定員200名に向けた改組計画を記載してはどうか。	ご指摘を踏まえ、「教育のまち福知山「学びの拠点」基本構想」の年次計画に基づき修正した。
8	教学の3つのポリシーについて、中央教育審議会大学教育部会の素案で示されたように、今後は、①ディプロマ・ポリシー、②カリキュラム・ポリシー、③アドミッション・ポリシーの順に記載してはどうか。	ご指摘を踏まえ、①ディプロマ・ポリシー、②カリキュラム・ポリシー、③アドミッション・ポリシーの順に記載した。
9	社会人教育がここでなら受けられるという大学であるべきであり、社会人教育の充実について記載を検討してもいいのでは。	福知山公立大学の使命の1つは、誰もが自己実現できる、地域社会のスキルアップとなるための学習の場、人づくりの場となることである。そのため、「前文」において、「市民一人ひとりの自己実現を支援し、生涯にわたり学びを享受できる生涯学習拠点を構築する。」を掲げる。 また、「第4 教育研究等の質の向上に関する目標」の「3(1)多世代人材育成と持続可能な社会形成への学術アプローチ」において、「大学の教職員等により、他世代のニーズに応えられる内容を備えた公開講座や社会人教育講座等を開催し、地域社会を担う人材育成や地域社会の満足度の向上に取り組む。」と記載し、社会人教育の充実を地域協働(地域貢献)の質の向上に関する目標の1つとして取り組む。
10	企業の欲しい人材を育成し企業活動に寄与することは、グローバルにも役立つ。地元企業に目を向けた大学の活用をもう少し考えてもいいのではなか。	北近畿地域で学び、働くという人材循環システムの構築に向けては、福知山公立大学を中核とした本地域の地域産業の振興・雇用創出を図ることにより、地域活力を高め、若者が定住し、賑わいと魅力あるまちづくりを推進することが重要である。 そのため、「前文」において、「地域産業の振興と雇用創出による賑わいと地域活力にあふれ、若者が定住する魅力あるまちを生み出す産業振興拠点を構築する。」を掲げる。 また、地域産業に寄与する人材を社会に送り出すためには、学生への積極的なキャリア支援教育を行うとともに地域連携体制の構築による安定した就職先を確保することが必要となる。 したがって、「第4 教育研究等の質の向上に関する目標」に「3(4)地域連携体制の構築による安定した就職先の確保」の項目を新たに掲げ、地元企業等への就職の促進の視点、また、北近畿地域の各種機関との連携体制の構築の視点を記載した。